

報道関係各位

令和6年（2024年）6月24日

ランチタイムセミナー おひるの科学**北海道のサーモン養殖****そのエサに****道産素材の副産物！**

道総研では、研究成果の中から、生活に関係する身近なテーマを紹介するセミナーを開催しています。

ランチタイムセミナーおひるの科学は道庁1階の交流広場で開催しており、今回は「サーモン養殖用のエサ」をテーマにお話しします。道産素材の加工で生じる副産物を用いた飼料の開発について、地産地消や資源循環の視点を交えてご紹介します。

【開催情報】

◎日時 令和6年7月9日（火）12:05～12:55

◎場所 北海道庁1階交流広場（札幌市中央区北3条西6丁目）

◎講演者 道総研 さけます・内水面水産試験場 専門研究員 小山 達也

◎参加費 無料

◎申込み 不要

◎詳細 道総研HP

<https://www.hro.or.jp/hro/info-headquarters/event-info/event-221.html>

【セミナー概要】

ジャガイモやホタテの加工残渣から、サーモン養殖用のエサを調合し、魚粉を主要原料とした従来の飼料と変わらない成長を示すことを確認しました。本セミナーでは、水産業や農業で生じた副産物を活用した飼料の開発について、地産地消や資源循環の視点を交えてご紹介します。

○取材等ありましたら下記へお問い合わせ下さい。

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 経営管理部 企画・広報室 窪田・永田

電話 011-747-2900 Fax 011-747-0211

E-mail hq-soudan@hro.or.jp URL <https://www.hro.or.jp>

道総研
ランチタイム
セミナー

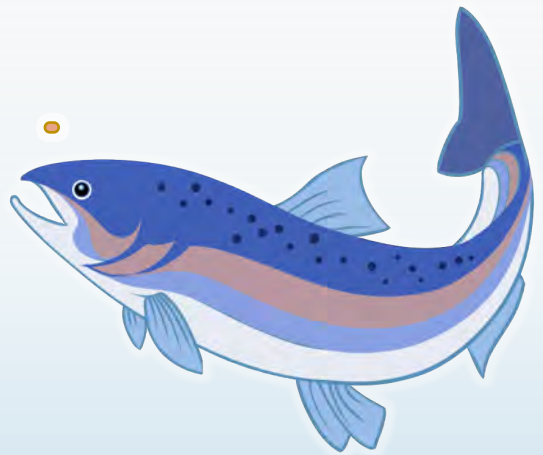
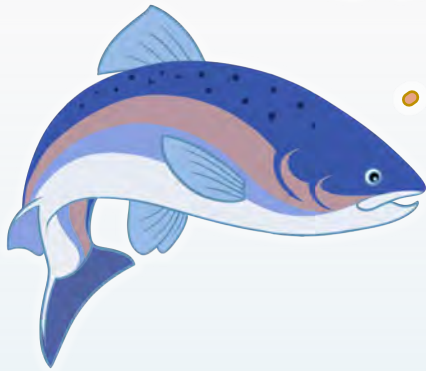
「おひるの科学」

参加無料

事前申し込み
不要です！

北海道の サーモン養殖

その**エサ**に道産素材の副産物！



どんな副産物を活用？

魚粉と比較してどうなの？

馬鈴薯デンプン
加工残渣物

ホタテウロ
の抽出液

道総研レシピの
独自飼料実現！

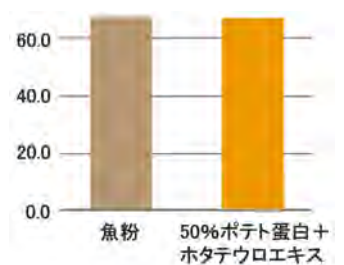
飼料効率
(増重量/給餌量)



+



=



2024年

7月9日 火

12:05 ~ 12:55

北海道庁 1階 交流広場

サーモン用養魚飼料の
開発について、
地産地消や資源循環
の視点から
お話しします！



主催 道総研 (地方独立行政法人 北海道立総合研究機構)

後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会

北海道のサーモン養殖

そのエサに道産素材の副産物！

水産業や農業における副産物を利用した飼料開発は、餌の安定供給と低コスト化に加え、持続的社會を維持する上でも重要な課題です。

馬鈴薯から生じるポテト蛋白及び、ホタテの加工残渣から製造したホタテウロエキス素材にした試験飼料を調合しました。この飼料をニジマスに給餌したところ、魚粉を主要原料とした従来の飼料と変わらない成長を示し、魚粉の代替品として十分に有効であることが確認できました。

本セミナーでは、水産業や農業で生じた副産物を複合的に活用したサーモン用養魚飼料の開発について、地産地消や資源循環の視点を交えてご紹介いたします。



講師 **小山 達也** (こやま たつや)

北海道立総合研究機構
さけます・内水面水産試験場
内水面資源部 養殖技術グループ
専門研究員

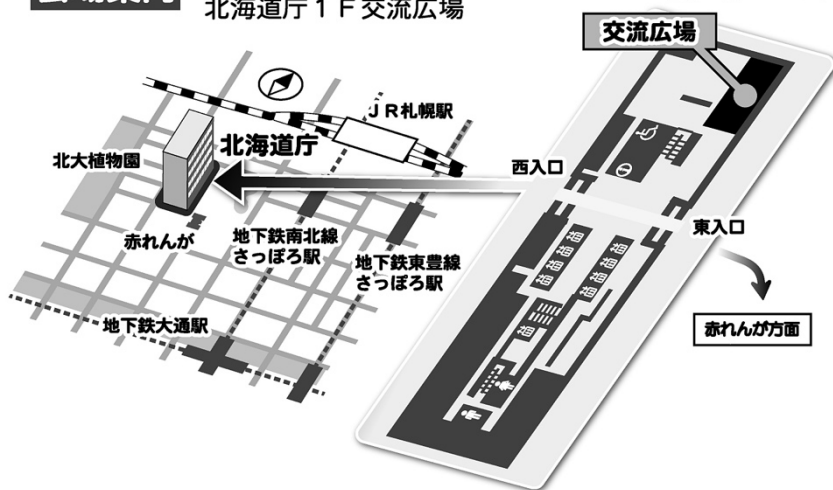
岩見沢市 出身
北海道大学 水産学部増殖学科卒業
1987年 北海道立水産孵化場
2023年から現職

【主な研究内容】 さけます増養殖

会場案内

札幌市中央区北3条西6丁目
北海道庁1F 交流広場

<道庁1階 フloor図>



お問い合わせ先

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構 経営管理部
企画・広報室

〒060-0819
札幌市北区北19条西11丁目
北海道総合研究プラザ

電話 011-747-2900
ファックス 011-747-0211
メール hq-soudan@hro.or.jp
ホームページ <https://www.hro.or.jp>



道総研
ホームページ



道総研 YouTube
チャンネル



道総研ランチタイムセミナー「おひるの科学」とは？

道総研（正式名称：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構）は、2010年4月に22の道立試験研究機関を統合して誕生した総合研究機関です。

道民の皆様の知的好奇心を刺激する身近な話題をテーマにしたセミナーを、ランチタイムに開催しています。